

胃・十二指腸検査の説明

津田沼中央総合病院
内視鏡センター



検査の前日

- 夕食は、消化のいいものを食べましょう
- 夜9時以降は、固形物をとらないでください
- **水分は寝る前まで、飲んでも大丈夫です**
- いつも飲んでいる薬は飲んでください。
- ただし、服用を中止するように言われた薬は飲まないでください。



検査当日

- 食事はとらないでください。味見などもしないでください。
- **水**は飲んでも大丈夫です。
- 薬は、血圧や心臓の薬は**朝7時**までに服用してください。
- 体調がすぐれない場合は、来院前に電話にてご相談ください。



熱がある、風邪（咳・鼻水・喉のいたみなど）の症状がある、だるいなど

- 検査は来院時の服装のままおこないます。

できるだけ、締め付けのない楽な服装でお越しください。



検査当日

来院から検査室まで

1 階で受付をします



・ 2 階の内視鏡センターへ

- ・ 窓口受付または、
再来受付機にて受付
- ・ 内視鏡検査後に受診のある方は、
受診をする科の受付もします。

- ・ 受付票 予約表 血圧測定紙
以上を、内視鏡センターの中の受付に
提出します。

内視鏡検査前の確認事項

- 御本人確認
 - 名前・生年月日を言っていただきます
- 現在の体調の確認
- 食事をしていない事を確認
- 検査歴の確認
- 麻酔のアレルギーの確認
- 抗凝固薬服用の有無を確認
- 検査の希望を確認 経口、経鼻
- 鼻からの場合
- 鼻から入らないことがあるため、口になる場合があること
- 鼻出血の可能性があること
- 画質が落ちる（口と比較して）こと
- 抗凝固薬 2 種類以上服用または、ワーファリン服用中の方は、鼻から検査はできません

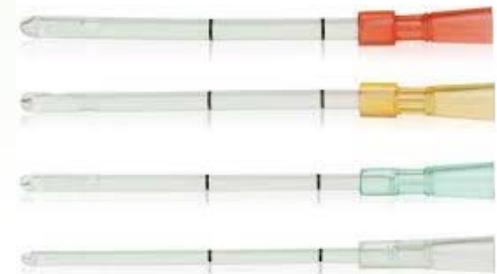
検査の当日 前処置 経口検査

- 胃の泡を消す薬を飲みます
- 咽頭麻酔
- 麻酔の薬をのどにスプレーで数回かけます
- スプレー中は息を止めています。
- スプレー後はそのまま薬を飲みます。
- 喉が腫れぼったく感じたり、舌が痺れたりします。
- 呼吸は鼻から吸って、口から吐きます。ゆっくり呼吸します。
- この時、つばは飲んでも大丈夫です。ただし、検査中のつばは飲まずに、
- 口の隙間からながしだします。



検査当日 前処置 経鼻検査

- 胃の中の泡や唾液を流す薬を飲みます。
- 飛沫感染防止のために、マスクをしたまま麻酔をします。
- マスクの汚染防止のため、マスクにガーゼを挟みます。
- 鼻血を防ぐための薬を、両方の鼻に点鼻します。
- 空気の通りの良い鼻腔に、麻酔のついたカテーテルをいれます。
- 入りにくい場合は、反対の鼻腔に入れます。
- 希望がある場合は、喉の麻酔を追加します。

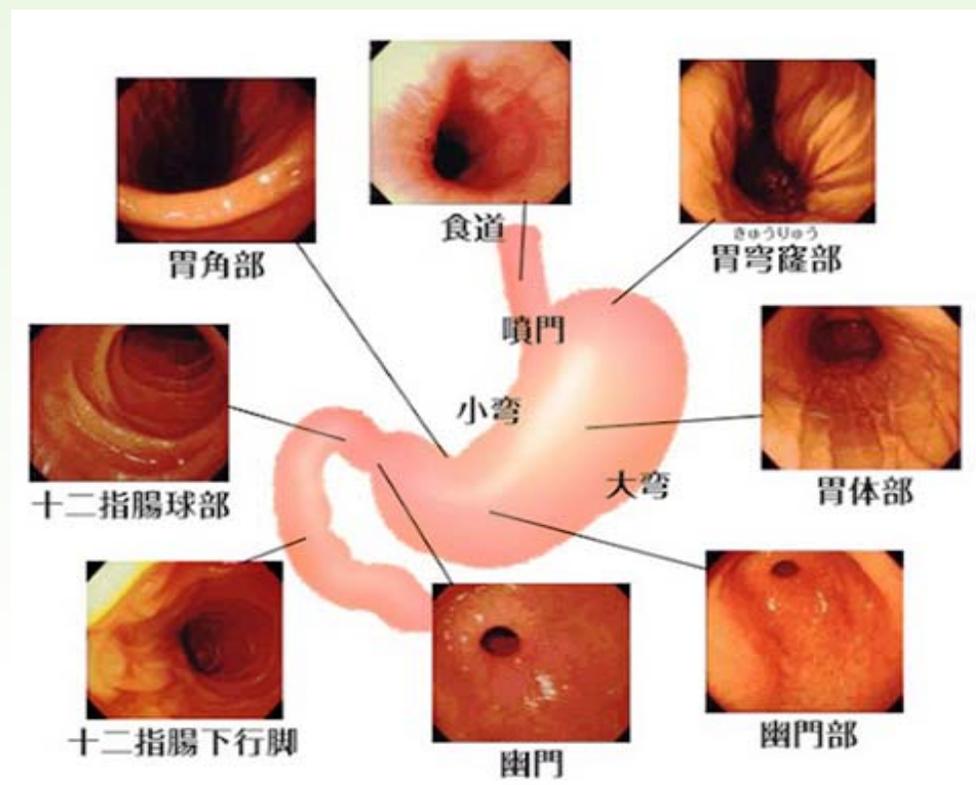


検査当日 検査

- 左側を下にして、横向きに寝ます。
- 左の頬は枕につけて、つばが出しやすいように少し下に向けておきます。
- 顎は引かず、自然にしてください。
- 検査中は出来るだけちからを抜いてください。
- つばは飲まずに、外に流しだします。
- 呼吸は、鼻から吸って口から吐きます。
- 検査中は検査台が狭いため、なるべく動かないようにしてください。



胃カメラの検査 = 食道から十二指腸までを観察します



検査後の注意点

- 検査後は禁飲食です。
- 喉の麻酔後 1時間
- 鼻麻酔のみ 15分
- 組織の検査後 1時間
- それぞれの時間が来たら、まず水を少し飲みます。むせずに飲めれば麻酔は切れています。
- 説明を受けた内容の食事をするようにします。（検査後に説明があります。）
- 検査直後から、口をすすぐことはできます。飲まずに軽くすすいでください。

